



創造する生徒 心豊かな生徒 鍛える生徒

藤花だより

令和5年度7月号
令和5年6月30日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339
<https://omiyaniishi-j.saitama-city.ed.jp>

「神様からの宿題」

～学びとは、自分の成長に気づき続けること～

校長 森角 由希子

梅雨明けの知らせが待ち遠しいこの頃です。1学期の期末テストを終え、3年生の修学旅行(奈良・京都方面)が予定され、そのあとには、いよいよ夏休みが始まります。

さて、1学期を振り返って、生徒のみなさんは今、どのような気持ちですか。学期末に向けて、学年集会での各学年やクラスの反省の発表や、授業での1学期の振り返りシートの記入を通して、自分自身のことや学級や学年のこと等、色々な気づきに出会うと思います。気付くことはとても大切なことです。気づきについて私は以前、ある人から、以下のような話を伺ったことがあります。

「うまくいかなかったこと、振り返って残念に思うことは、その人への神様からの大切な宿題なのです。そういうときは、自分が悪かったと考えるのではなく、そのことについてもっといい方法があることを学ぶチャンスなのだと考えて、そのよりよい方法に気付けばいいだけなのです。ちゃんとそこで学べば、神様は二度と同じ宿題は出しません。ただ、そこできちんと学ばないと、神様は学びが終わるまで何回も宿題を出すから気を付けたほうがいいですよ。」

うまくいかないときは、落ち込んでばかりいるのではなく、そのことから謙虚に学ぶ気持ちが、とても大切だと私は思っています。1学期の振り返りはもちろん、授業が終わるとき、1日が終わって、布団に入ったときの振り返り等、ぜひそれらの中での気づきを大切にしてください。

そして、楽しい夏休みも、いずれ終わりが来ます。始まる前から「終わり」について語るのも気が引けますが、大人の私でも毎年8月の中旬を過ぎると、気が重くなります。どこかに逃げ出したいくなるような気持ちになります。そのようなときに思い出す言葉が「樂せず楽しむ」です。何でも自分から楽しんでやろうと思えば、心も軽く元気になります。「やるぞっ!」という前向きな気持ちがわいてきます。心がふさぎがちになったら、この言葉を生徒の皆さんもぜひ思い出してみてください。

長いようで短い38日間の夏季休業日には、健康管理に気を付け、自分と関わりのある人たちに感謝の気持ちを忘れず、普段できない色々な気づき、挑戦・学びができることを祈っています。

2学期始業式に、はつらつとした笑顔の大宮西中生のみなさんにご挨拶することを楽しみにしています。



2011年 東日本大震災
「はるかひまわり絆プロジェクト」のひまわり